



---

# 2023年度 上期の電気機器の状況

2023年11月22日

一般社団法人日本電機工業会

## 1. 2023年度上期 概況

- 1-1 経済の概況
- 1-2 重電機器 概況
- 1-3 白物家電機器 概況

## 2. 重電機器分野

- 2-1 国内生産の状況
- 2-2 国内生産の増減内訳
- 2-3 2023年度下期 国内生産動向

## 3. 白物家電分野

- 3-1 国内出荷の状況
- 3-2 国内出荷の増減内訳
- 3-3 2023年度下期 国内出荷動向

## ■ 参考資料



---

# 1. 2023年度上期 概況

### (1) 海外

- 2023年10月発表のIMF世界経済見通しでは、実質成長率は停滞感がより強まると予想されている（2023年3.0%、2024年2.9%）
- 部材供給制約やエネルギー・食料価格上昇といった世界的な供給ショックが落ち着きを見せる一方で、景気・物価の方向感には国・地域ごとにばらつきが見られる
- 米国経済は底堅い個人消費に支えられ堅調に推移するも、中国経済はゼロコロナ政策解除後の回復が想定よりも鈍く、中国国内経済の低迷と不動産危機が懸念されている

### (2) 国内

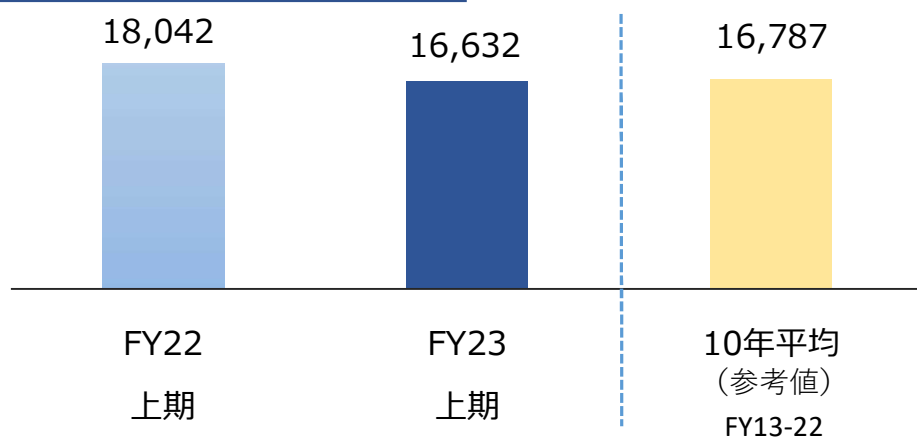
- 日本経済は一部指標に弱さが見られるものの、総じてみれば緩やかに回復している
- 個人消費や設備投資、インバウンド需要に停滞感がみられるものの、緩やかな回復が続く見通しである
- 一方、世界経済の後退による輸出関連への影響や、物価上昇、金融資本市場の変動、地政学リスク等の影響を十分注視する必要がある

## 1-2 重電機器 概況



重電機器 2023年度上期 国内生産 1兆6,632億円 (前年同期比92.2%)

重電機器 国内生産金額 (億円)



単位：億円、%	22年度上期	23年度上期	前年同期比
重電機器 国内生産	18,042	16,632	92.2

出所：経済産業省 生産動態統計

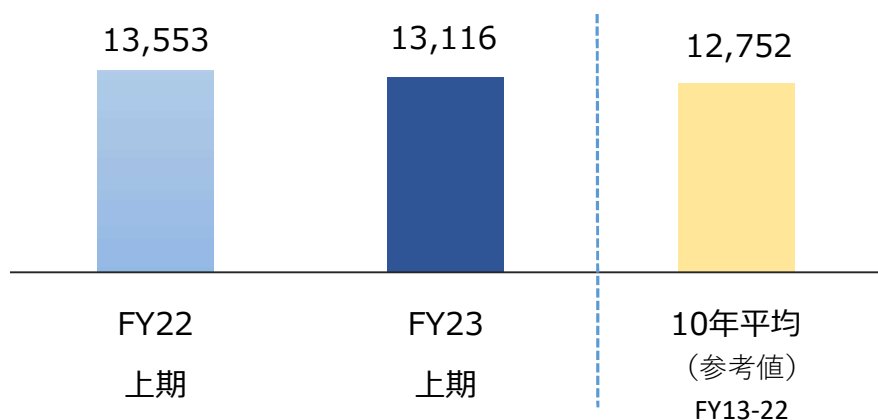
- 電力向け発電用原動機は前年度に火力大型案件が集中した反動により、前年同期を大幅に**下回った**
- 一方、電力向け変電機器の需要増により静止電気機械器具、開閉制御装置・開閉機器は前年同期を**上回った**
- 世界的な半導体、電子部品産業向けの設備投資減少の影響が、産業用汎用電気機器の生産へ表れ始め前年同期を**下回った**
- 部品調達難の影響は、改善傾向にあるが継続している

## 1-3 白物家電機器 概況



白物家電機器 2023年度上期 国内出荷 1兆3,116億円 (前年同期比96.8%)

白物家電機器 国内出荷金額 (億円)



- コロナ禍以降、高止まりが続く原材料価格、により製品価格が上昇し、出荷金額を押し上げたものの、物価高による消費者の節約志向が大型家電を中心とした耐久消費財にも影響した
- また、外出機会の増加により、耐久消費財から旅行や外食などのサービス消費へのシフトがあり、前年同期を**下回った**

単位：億円、%	22年度 上期	23年度 上期	前年 同期比
白物家電機器 国内出荷	13,553	13,116	96.8

出所：日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）

---

## 2. 重電機器分野

## 2-1 国内生産の状況（重電機器分野）



(単位:億円、%)	2022年度 上期	2023年度 上期	前年同期比
重電機器合計(1+2+3+4)	18,042	16,632	92.2
1.発電用原動機計	3,061	1,144	37.4
ボイラ	1,746	506	29.0
蒸気タービン	293	241	82.4
ガスタービン	1,022	397	38.9
2.回転電気機械計	5,029	5,040	100.2
うち交流電動機	1,936	1,719	88.8
うちサーボモータ	584	549	94.1
3.静止電気機械器具計	3,036	3,319	109.3
うち変圧器	1,106	1,204	108.9
うち電力変換装置	1,556	1,730	111.2
うちサーボアンプ	555	537	96.8
4.開閉制御装置・開閉機器計	6,917	7,129	103.1
密閉形ガス絶縁開閉装置	303	324	106.8
うち監視制御装置	809	909	112.4
うち低圧開閉器・制御機器	2,866	2,838	99.0
うちプログラマブルコントローラ	658	691	105.1

出所:経済産業省 生産動態統計

【備考】 1:端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

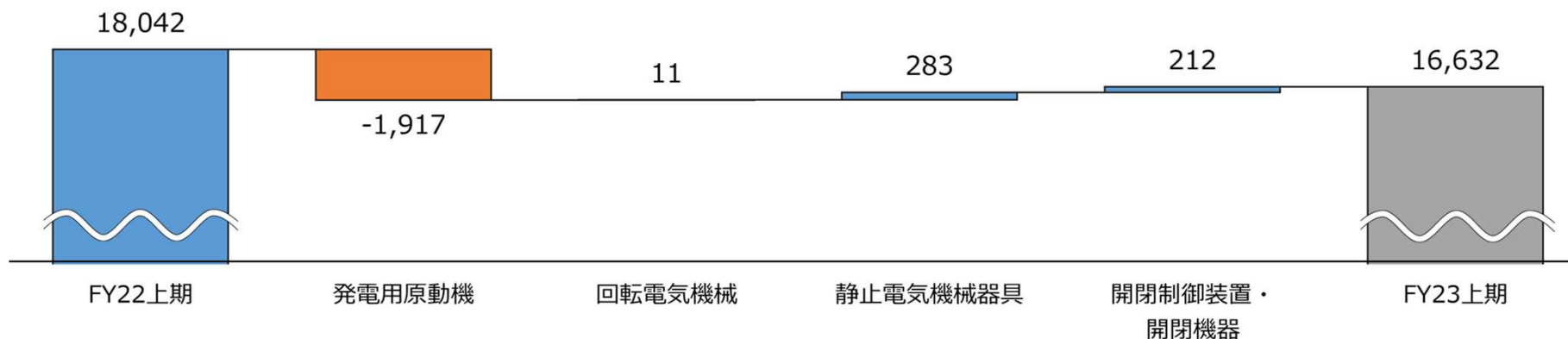
2:内訳詳細データについては、別紙「2023年度 上期の電気機器の状況 参考データ」をご参照



## 2-2 国内生産の増減内訳（重電機器分野）

2023年度上期 国内生産 増減内訳

単位：億円



主な増減要因	
重電機器合計	<ul style="list-style-type: none"> <li>1兆6,632億円、前年同期比92.2%と前年同期を<b>下回った</b></li> </ul>
発電用原動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>発電用原動機全体としては、前年同期を大幅に<b>下回った</b></li> <li>火力発電機器市場の縮小による影響は継続している</li> <li>前年度上期に国内火力発電所向のリプレース需要により生産集中があったため、その反動としてボイラ、蒸気タービン、ガスタービンが前年同期を大幅に<b>下回った</b></li> </ul>
回転電気機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>回転電気機械、静止電気機械器具、開閉制御装置・開閉機器は、前年同期を<b>上回った</b></li> </ul>
静止電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力向け中心の、変圧器、密閉型ガス絶縁開閉装置、監視制御装置が前年同期を<b>上回った</b></li> </ul>
開閉制御装置・開閉機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>一方、製造業向けの設備投資のうち、半導体、電子部品産業向け需要が減少しており、交流電動機、サーボモータ、サーボアンプなどの産業用汎用電気機器が前年同期を<b>下回った</b></li> </ul>

## 2-3 2023年度下期 国内生産動向（重電機器分野）



- 発電用原動機は、脱炭素化に向けた政策により火力発電市場は縮小、前年同期を下回ると見通している
- 電力向け中心の、変圧器、密閉型ガス絶縁開閉装置、監視制御装置等は、再エネの主力電源化に伴う、次世代電力ネットワーク（送電網、配電網）の構築により引き続き需要の増加が見込まれるため、前年同期を上回ると見通している
- 製造業向けの設備投資のうち、半導体、電子部品産業向け需要減少の影響は継続すると見ており、サーボモータ、サーボアンプなどの産業用汎用電気機器は、上期に引き続き前年同期を下回る可能性が高いと見通している
- 半導体、部品の供給不足などサプライチェーンの課題は改善傾向にあるが、影響は継続するものと思われる。物価高騰、円安等コスト面でのリスクも懸念される
- 重電機器全体として、下期生産は前年を下回ると見通している



---

### 3. 白物家電機器分野

### 3-1 国内出荷の状況（白物家電機器分野）



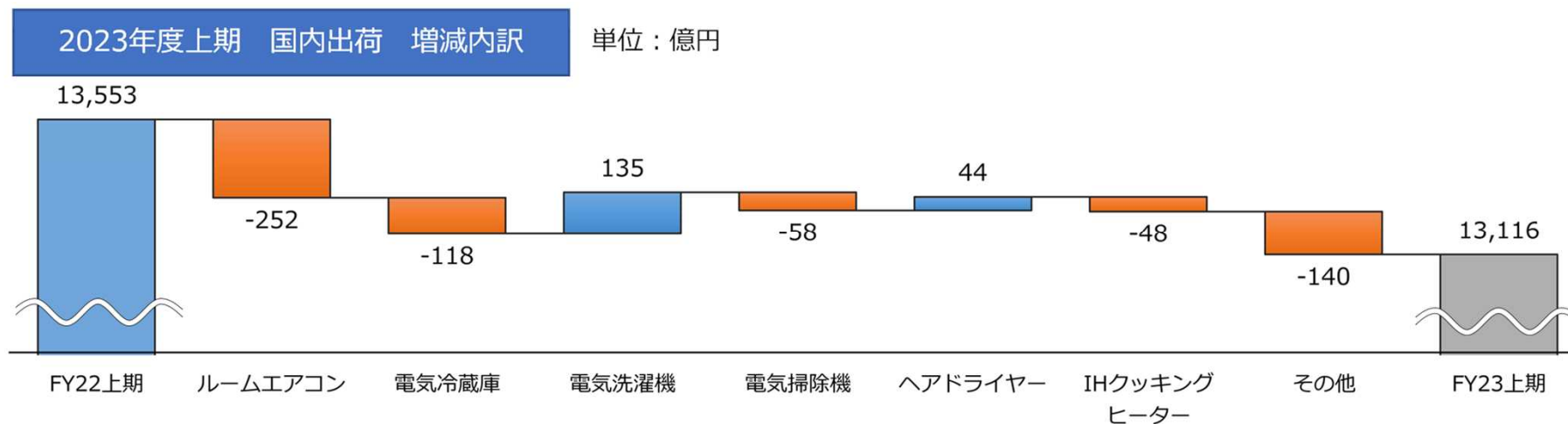
(単位:億円、%)	2022年度 上期	2023年度 上期	前年同期比
白物家電機器合計	13,553	13,116	96.8
ルームエアコン	4,869	4,617	94.8
電気冷蔵庫	2,434	2,316	95.1
電気洗濯機	1,882	2,017	107.1
うちドラム式洗濯乾燥機	(885)	(975)	(110.2)
電気掃除機	715	657	91.9
ヘアドライヤー	177	221	124.9
IHクッキングヒーター	398	350	88.1
その他(上記品目以外)	3,078	2,938	95.5

出所:日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)

【備考】1:端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

2:内訳詳細データについては、別紙「2023年度 上期の電気機器の状況 参考データ」をご参照

## 3-2 国内出荷の増減内訳（白物家電機器分野）



主な増減要因	
白物家電機器合計	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍以降、高止まりが続く原材料価格、輸送コストにより製品価格が上昇し、出荷金額を押し上げたものの、物価高による消費者の節約志向が大型家電を中心とした耐久消費財にも影響した</li> <li>また、外出機会の増加により、耐久消費財から旅行や外食などのサービス消費へのシフトがあり、前年同期を<b>下回った</b></li> </ul>
ルームエアコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年が上海ロックダウン解除後に出荷が正常化したことにより高水準だったため、その反動もあり、前年同期を<b>下回った</b></li> </ul>
電気冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>401L以上の大型タイプが構成比を落とし、小容量・中容量帯の構成比が伸長したこともあり、前年同期を<b>下回った</b></li> </ul>
電気洗濯機	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドラム式洗濯乾燥機へのシフトが牽引し、前年同期を上回った。上期として過去最高の出荷金額となった</li> </ul>
電気掃除機	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年同期を<b>下回った</b>ものの、軽量化や吸引力を強化した縦型（スティック型）のニーズは継続している</li> </ul>
ヘアドライヤー	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出機会の増加による需要回復があり、前年同期を上回った</li> </ul>
IHクッキングヒーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年同期を<b>下回った</b>ものの、環境意識や安全意識の高まりによるオール電化需要から、2口以上ビルトイン型のニーズは継続している</li> </ul>

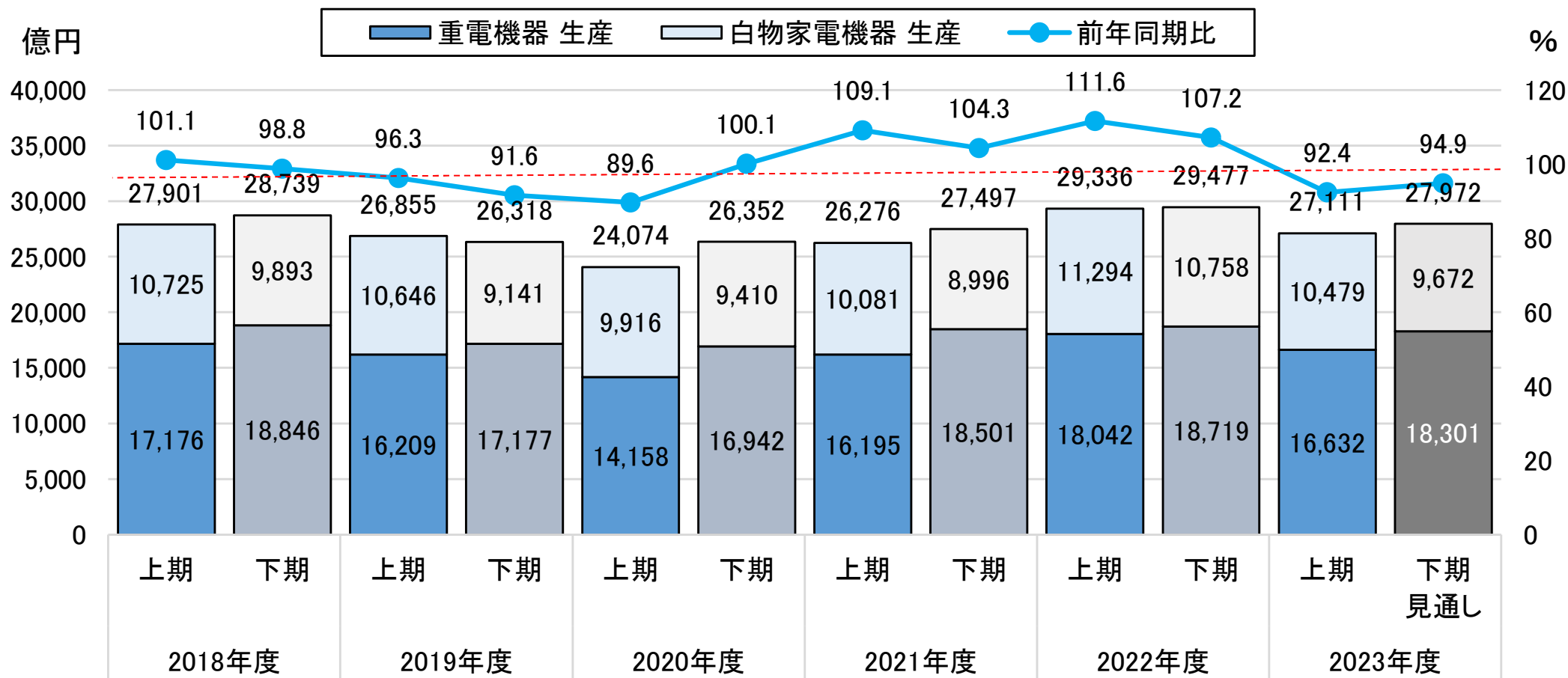
- 外出機会の増加によるサービス消費へのシフトや、物価高騰による消費者マインドの冷え込みは継続すると見ており、国内出荷は前年を**下回る**と見通している
- 巣ごもり需要の終息により、引き続き耐久消費財は低迷すると考えている
- 一方で、インバウンド需要の回復や外出機会の増加により、理美容家電の需要回復は期待される



---

## 參考資料

# 1. 【電気機器】国内生産額推移 – 半期別

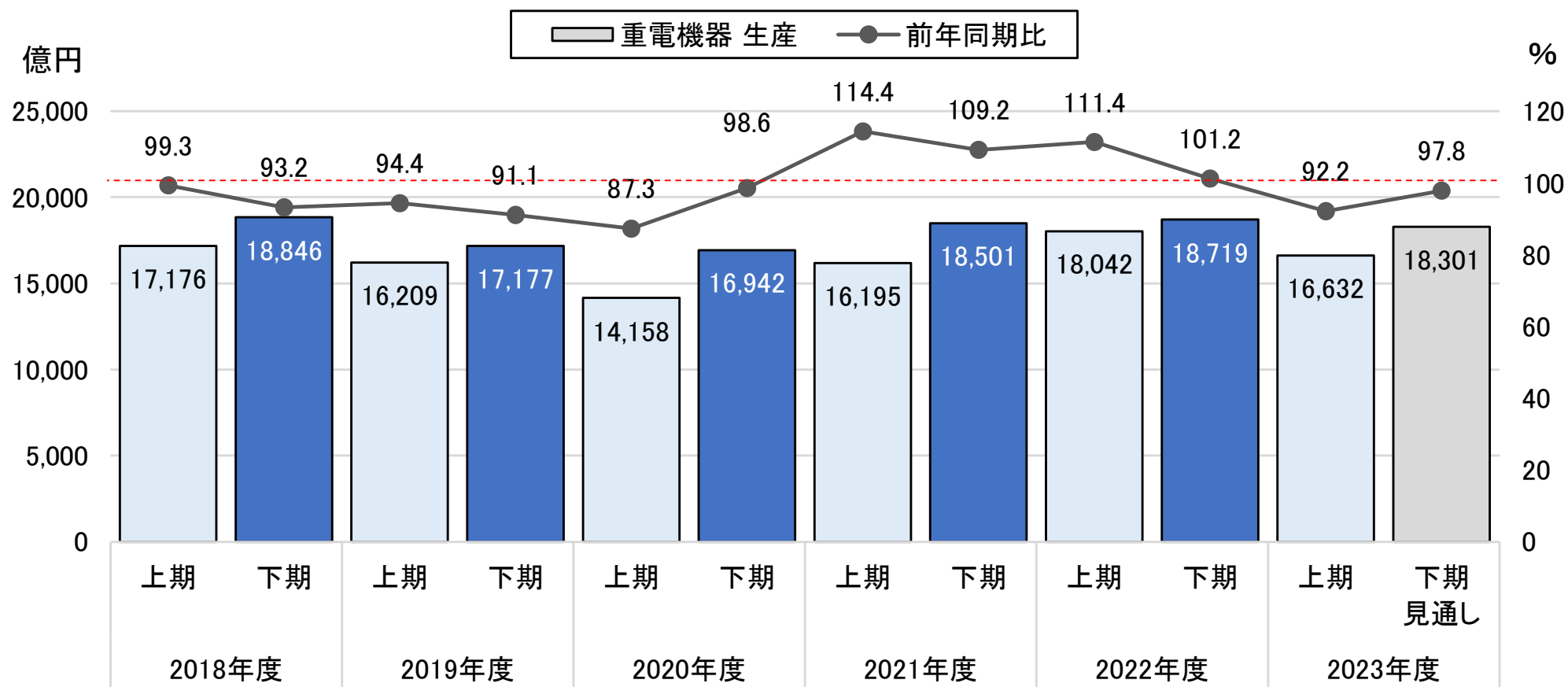


出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】1: 2023年度下期見通しは、2023年3月15日に発表したものである



## 2. 【重電機器】国内生産額推移 – 半期別



出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】1: 2023年度下期見通しは、2023年3月15日に発表したものである

### 3. 【重電機器】国内生産実績－生産分類別



経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMAが受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました

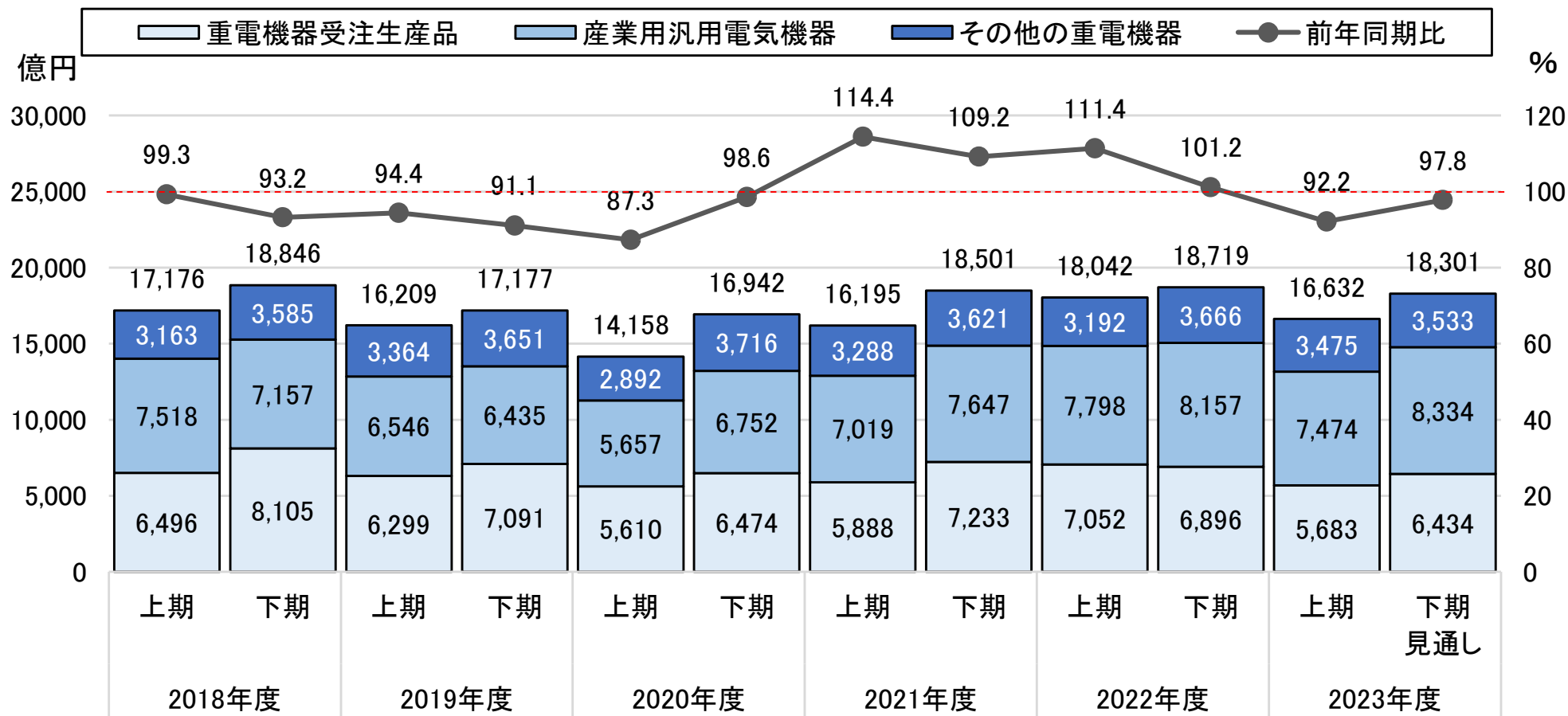
(単位: 億円、%)	2022年度 上期	2023年度 上期	前年同期比
重電機器合計	18,042	16,632	92.2
受注生産品*1	7,052	5,683	80.6
発電用原動機	3,061	1,144	37.4
電力・一般産業用機器	3,991	4,539	113.7
産業用汎用電気機器*2	7,798	7,474	95.8
その他の重電機器*3	3,192	3,475	108.8

出所: 経済産業省 生産動態統計

- \*1 受注生産品: 発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等  
電力及び産業用(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備
- \*2 産業用汎用電気機器: 汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等  
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品  
流通は代理店経由が多い
- \*3 その他の重電機器: 機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、  
データとして分類できない機器

【備考】1: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

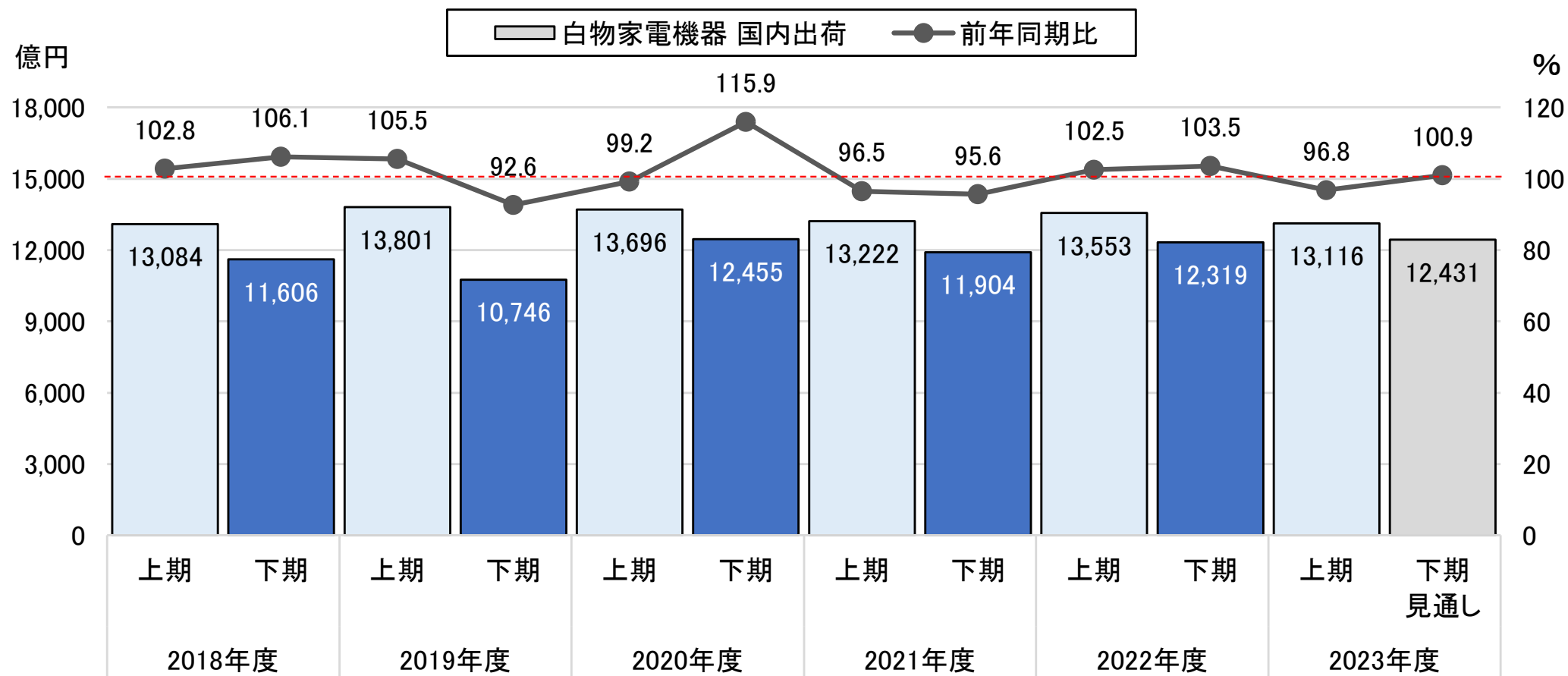
## 4. 【重電機器】国内生産額推移－生産分類別



出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】1: 2023年度下期見通しは、2023年3月15日に発表したものである

## 5. 【白物家電機器】国内出荷額推移－半期別



出所：日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）

【備考】 1: 2023年度下期見通しは、2023年3月15日に発表したものである

## 6. 【白物家電機器】 国内生産額実績



(単位: 億円、%)	2022年度 上期	2023年度 上期	前年同期比
白物家電機器合計	11,294	10,479	92.8
ルームエアコン	3,455	3,245	93.9
電気冷蔵庫	1,296	1,293	99.7
電気洗濯機	652	643	98.6
電気掃除機	256	207	80.7
電気がま*	308	267	86.7
その他(上記5品目以外)	5,327	4,825	90.6

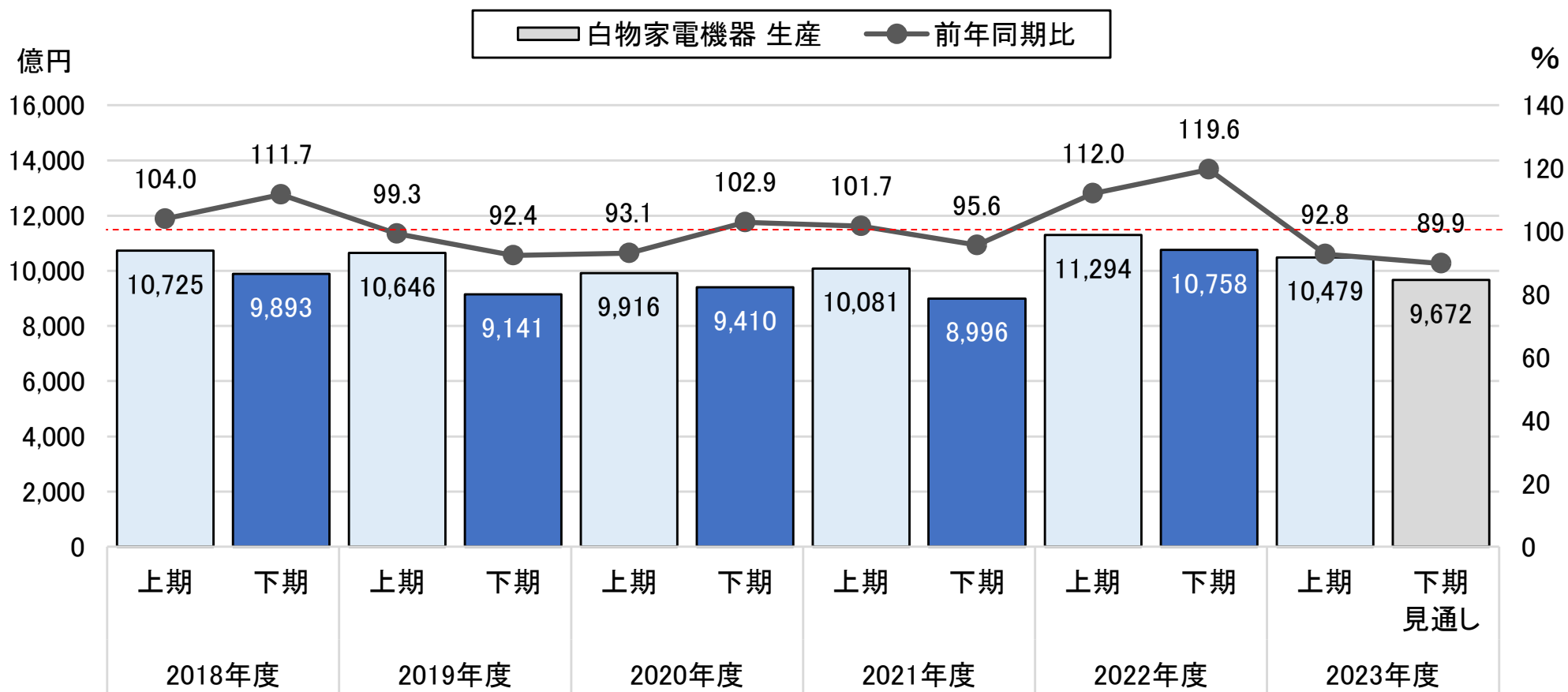
出所: 経済産業省 生産動態統計

【備考】1: 電気がま: 保温機能(ジャー)がないものも含む

2: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

3: 内訳詳細データについては、別紙「2023年度 上期の電気機器の状況 参考データ」をご参照

## 7. 【白物家電機器】国内生産額推移－半期別



出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】1: 2023年度下期見通しは、2023年3月15日に発表したものである